

時計係の仕事内容

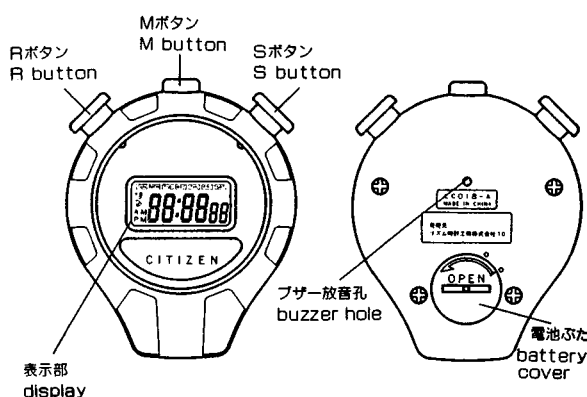
- ・発表の計時を行い、ベルを鳴らす。発表 15 分、質疑応答 10 分。
13 分目に 1 鈴、
15 分目に 2 鈴、
25 分目に 3 鈴。
- ・質疑応答終了後、室内の講演番号札を次の講演番号に替える。

ストップウォッチの使い方（下図参照）

真ん中の M ボタン（MODE ボタン）は触らない。常にストップウォッチ表示にしておく。**SUN** マークは常に点滅。

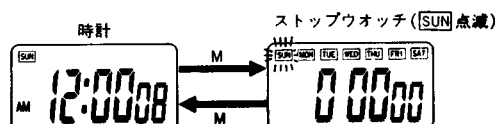
1. 右の S ボタン（START/STOP ボタン）を押して計時スタート。計測中は **SUN** と **SAT** が点滅。
2. 同じボタンを押すと計時ストップ。 **SUN** と **SAT** と **FRI** が点滅。
3. 左の R ボタン（SPLIT/RESET ボタン）を押してリセット。

●各部の名称



●表示の切換えかた

- 時計またはストップウォッチ表示
M ボタンを押すごとに時計モードとストップウォッチモードが交互に切替わります。



●ストップウォッチの使い方

A 単純計時 Simple timing

M ボタンを押してストップウォッチ表示にします。
ストップウォッチマーク **SUN** は常に点滅します。

計測時間が40分未満では、

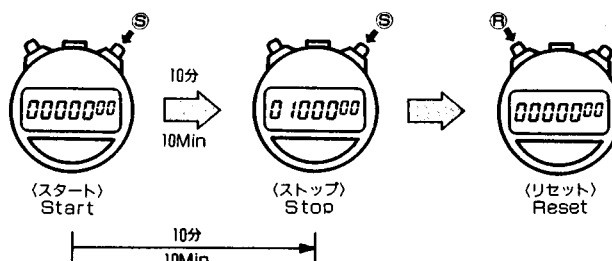
分 秒 1/100秒

のように表示しますが、

40分を越えすと、

時 分 秒

に表示が変わります。



OHP や LCP のランプ切れ等、トラブルが発生したときには計時をストップさせる。